

# 現場見学受け入れ企業に 札幌工業高校が感謝状

## 土木3社、建築2社に贈呈

札幌工業高校（猪股  
康行校長）での現場見

学会を受け入れた現場の施工企業に対する感謝状の贈呈式が9月19日、北海道建設会館で行われた（写真）。

現場見学会は（一社）札幌建設業協会が毎年、土木、建築の2現場で行っている。この日は土木が伊藤組土建（株）、勇建設（株）、三北路（株）の3社、建築が（株）田中組と（株）丸竹田組の2社の代表者ら合わせて8人が出席した。

感謝状は同高校の猪股校長から、各社の代表者らにそれぞれ渡された。猪股校長は「土木、建築の人材を引き続き輩出するには、現



場見学での体験が大「事」などと感謝した。

また土木の各社を代表して伊藤組の坂田和則常務執行役員が、建築の現場を代表して田中組の大野孝取締役専務執行役員がそれぞれあいさつ。現場見学会

では先輩達の経験を聞く機会も設けており、生徒たちの進路決定に際しての効果にも期待が寄せられた。

今年の現場見学会は7月中旬に行われ、土木は札幌市南区定山溪での「豊平川水道水源

水質保全 取水堰新設工事」、建築は同区石山の「石山地区新設小学校新築ほか工事」を対象に実施。それぞれ生徒80人が参加した。